

T T C 定例山行実施記録

2012年9月12日報告者：佐藤 清

山行名	西丹沢 畦ヶ丸				[1,292.6m 神奈川県]
実施日	2012年9月8日(土)		日帰り	マイクロバス利用	
天候/参加人員	天候：晴れ		レベル：★★	参加人員：13名 (男6名/女7人)	
パーティスタッフ	CL/計画：、SL：、会計：、救護：、写真：		スタッフ名削除		
参加メンバー	A班 ☆ B班 ☆		氏名削除 計13名		
費用 一人当たり 5,700円	<u>(内訳)</u> 収入@¥5,700×13名=¥74,100 支出 マイクロバスレンタル料 ¥40,000、ドライブ-謝礼 ¥18,000、燃料代 {¥130 /1L × (70km×往復+50 km) /5} = ¥4,940、高速料金 (厚木 IC⇄大井松田 IC) ¥900、入浴料 ¥8,400 支出合計 ¥72,240 収支： ¥74,100 - ¥72,240 = ¥1,860 (カンパ金 ¥1,860)				
歩行・		歩行時間	休憩時間	行動時間	
	ガイドブック	5 : 25	—	—	
	計画	6 : 00	1 : 45	7 : 45	
	実行	6 : 36	1 : 38	8 : 14	
実行コースタイム記録					
0:05	0:15	0:05	0:39	0:51	0:44
イトーヨーカードー====厚木IC====中井PA====大井松田IC====西丹沢自然教室-----ベンチ-----ベンチ					
6:30	6:35	6:50~7:02	7:07	7:46~59	8:50~59 9:43~51
0:43	0:02	1:03 (昼食)	0:03	0:55	0:47 0:35
-----善六のタワ====休憩-----畦ヶ丸山頂-----畦ヶ丸避難小屋-----大滝峠上-----軒家避難小屋-----休憩					
10:34	10:36~43	11:46~12:22	12:25~37	13:32~43	14:30~40 15:15~20
0:53	0:03	0:30	0:20	0:13	
-----大滝橋====ぶなの湯====大井松田IC====厚木IC====本厚木近辺					
16:13~23	16:26~17:36	18:06	18:26	18:40	
コースの概要、特記事項、反省事項等					
<p>文頭でかつ私事で恐縮ですが、左足のくるぶしの下が痛く浮腫んで歩くことも難しかったので、9月6日(木)に病院へ行き医者から痛風だと告げられて、患部の水を抜き薬をもらいました。9月8日(土)の畦ヶ丸を歩くのはかなり難しく、7日(金)にSLのSTさんに連絡をして歩けない場合はCLをお願いしました。当日になると歩ける状態ですが、力が加わると左足は少し痛い。今日は皆さんと共に歩けないかなと思いつつ、西丹沢自然教室に着きました。到着すると痛いより歩きたいとの思いのほうを上回り、皆さんへの迷惑も顧みず山行に行くことにしました。歩行が遅く(特に下り)ご迷惑をお掛けしたしたことについてはお詫び申し上げます。</p> <p>当日は午後から雨の予報で、何とか山行が終了するまでは降らないようにと祈りながら、HMさんの音頭での準備体操を終えてから自然教室を出発した。西丹沢では人気のないコースなのか、すれ違う人も少なく静かな山歩きができた。</p> <p>自然教室から、吊り橋を渡り直ぐに樹林帯の中を西沢の右岸沿いに歩く。出発してから西沢を渡る回数も多く右岸へ左岸へと何回渡ったか分からない。本棚を過ぎて暫く行くと山道は沢伝いの道を離れていく。自然教室から畦ヶ丸の山頂までは、西沢を横切る沢沿いの登山道、沢を離れ善六ノタワまでの山腹のトラバース道、そこから山頂までは単調な道を歩き最後のきつい登りが待ってる。</p> <p>善六ノタワを通過し、いよいよ畦ヶ丸までの最後のアプローチである尾根歩きが始まる。善六ノタワを過ぎると直ぐにベンチのある小ピークを通過する。その先は、一度鞍部に降り、長い梯子の付いたところを通過する。梯子を登り切ると、暫くは気持ちのよいブナの尾根道が続き、汗をかき一歩ずつ登っていく。避難小屋まで200mと書かれた標識を過ぎると、直ぐに畦ヶ丸の山頂に到着する。</p> <p>頂上にあるベンチには、途中で私たちを追い越して行った2名が休憩していたが、追い出してしまったように、自然教室方面に下って行った。たぶん、自然教室に駐車をして畦ヶ丸へのピストン山行だろう。</p>					

山頂で昼食をゆっくり取ってから出発するとモロクボ沢分岐のある畦ヶ丸避難小屋へは、すぐに到着する。モロクボ沢分岐を右折すると、菰釣山や白石峠へ行くことができる。避難小屋は手入れが行届き、トイレもある。ここでも休憩を取ってから標高を下げて、一時間ばかり大滝沢上のベンチに着き、一息入れる。

次の休憩は一軒屋避難小屋にしますと伝えてから歩くこと45分ぐらいで着いた。一軒屋避難小屋から、暫くステタロー沢沿いに歩くが、沢から離れ山腹をトラバースするようになる。やがて登山道の道幅が広くなり、正面に舗装された林道が見えるようになると、IMさんが運転するマイクロバスが見えてきた。いつものぶなの湯で汗を流し、水分補給してから帰路に着いた。厚木に着いてから有志でイトーヨーカドー前の『おぼんざい』に入り食事（一部の方はビール）をして、雨にも関わらず楽しい山行は終了した。